金沢の中心商店街の活性化のために共通駐車サービス券の発行と情報化促進

金　沢　商　工　会　議　所

機関名	金沢商工会議所	
所在地	金沢市尾山町９番１３号	
電話番号	０７６－２６３－１１５１	
地域概要	(1)管内人口　　４５万８千人	(2)管内商店街数　　５２商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　　５商店街	(2)会員数　　３８３　商店
	(3)空店舗率　　３．３％	(4)大型店空き店舗　　-　店
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街	

【事業名と実施年度】

平成 12 年度　　駐車対策事業　　共通駐車券システム事業
　　総事業費　　26,836 千円
平成 13 年度　　活性化対策事業　商店街ポータルサイトの制作、情報提供
　　総事業費　　22,500 千円

【事業実施内容】

1.背景

金沢市は、加賀百万石の城下町として繁栄を続けてきたが、近年、モータリゼーションの進展や、大規模な駐車場を有する郊外型大型店の台頭は、駐車場不足を否めない中心商店街の空洞化や交通渋滞に拍車を掛け、深刻な問題となっている。

金沢市、香林坊・片町地区地図

このような状況下、平成 10 年度、香林坊・片町地区における 400 店舗、加盟駐車場 18 箇所(計 2,700 台)のいずれにおいても利用可能な駐車場割引サービスを実験的に実施（愛称『５（ファイブ）タウンズ・パーキングネット』）した。平成 11 年度には、中心商店街のもう一つの核である武蔵地区駐車場ネットワーク研究プロジェクトチームを発足させ、システムの構築、将来的には片町・香林坊地区のシステムと連動させる手法・各種調査・研究を進めた。

そこで、12 年度事業では、これらの調査結果を基に、実験的にシステムを稼動させ、必要とされる各種事業を展開。また、13 年度事業では、商店街の関心を高め集客力向上の契機とすることを目的として、広く社会に浸透した携帯端末に着目。これを積極的に活用することで、商店街の情報化を商店街が図り、ＩＴに実験的に取り組む場を設けると共に、消費者に対する情報発信力を強化することにつなげることとした。

2.事業内容

(平成 12 年度事業)

当事業は、これまで、各商店街・個店が独自に行ってきた駐車場割引サービスを中心商店街の連携体制を確立し、エリア全体において実施することにより、郊外型大型店と差別化を図るとともに、中心商店街における活性化策の一助とすることを目的とする。

①事業期間　平成 12 年 9 月 1 日～
平成 13 年 3 月 31 日

②対象商店街(武蔵地区)：武蔵商店街、近江町市場、尾張町商店街、横安江町商店街、彦三商店街

③サービス内容　：愛称は「むさしパーキングネット」
武蔵地区における約 180 店舗において、買物金額 2 千円～3 千円以上で駐車料金が 1 時間無料となる共通割引サービス券（磁気式）を提供する。サービス券は、加盟駐車場 12 ヶ所（計 1,400 台）のいずれにおいても利用可能となっている。

④事業項目･内容･実施方法等
金沢商工会議所では、商店街や駐車場への周知徹底や事業への参加要請、加盟店ステッカーやリーフレットの作成･配布などを通じ、広く、生活者に対してシステムの PR 事業を実施した。

⑤広報
年末商戦時期となる平成 12 年 12 月 1 日より平成 13 年 3 月 31 の 4 ヶ月間にわたり、実験的にシステムを稼動することとし、当日を起点として、オープニングイベント会

場にてリーフレットの配布等を実施した。また、ＦＭラジオ放送によるＰＲを展開すると共に、新聞（地元紙）広告も掲載した。

・リーフレット　　5 万枚作成　　・　ラジオ放送 1 局各 20 秒計 105 本

・新聞広告　　１２月１日の朝刊、1 月 3 日朝刊　　全 5 段

(平成 13 年度事業)

① 商店街の情報化

商店街及び個店等を 8 桁でコード化し、商店街情報を集約したポータルサイトを制作し、8 桁コード入力により検索できるシステムを構築。

これにより、消費者は携帯電話によるインターネット接続サービスを活用し、場所を制約されずにリアルタイムで商店街・個店の情報を入手することができ、個店に対する消費者の関心を高めることが可能となった。また、商店街イベントやバーゲン情報の発信も容易となり、消費者と商店の距離を近づける効果を上げ

ることができた。

また、コード入力を喚起し中心街の複合的魅力を認識させるため、ＩＴ体験スポットを設置し、回遊マップを作成・配布、連動して地域内の個店・文化・歴史スポットにコードを入れたステッカーをサインとして掲示した。

<体験スポット>　開催日：平成 13 年 7 月 28 日～8 月 26 日
場　所：武蔵スカイプラザ/横安江町いちょう館
目　的：モバイルＩＴの広報・利用ＰＲ

②ＩＴ関連イベント

集客効果を上げるため、香林坊地区・武蔵地区 2 地区で商店街を回遊させるイベントを展開。具体的には、商店街モバイルウォークラリーや待ちうけ画面の提供など複合的に展開。

<モバイルウォークラリー>　香林坊地区　開催日　平成 13 年 8 月 11 日・12 日
武蔵地区　開催日　平成 13 年 8 月 18 日・19 日

<待受画面>

商店街での商品購入に対する顧客サービスとして携帯オリジナル待受け画面プレゼント。場所：武蔵スカイプラザ、竪町広場、横安江町いちょう館、香林坊 109 横

3.事業の効果

(平成 12 年度事業)

実験的に割引サービスを実施した 4 ヶ月間は、システムの問題点、利用度、利便性を向上させるのに必要となる事項について再検討できる絶好の機会となった。

駐車場の利用頻度データ（平成 14 年 12 月～平成 15 年 3 月）

駐車場数	計
12 ヶ所(1400 台)	8,552 枚発行

(平成 13 年度事業)

①商店街の情報化

1）情報化スポット展開

情報化スポット数：1,983 件　商店街個店　：1,321
観光（歴史・文化）：662

配布先：ステッカー（各店舗並びに観光スポット）

アクセス実績数　71,665 件

2）ＩＴ体験スポット

・期間　:平成 13 年 7 月 28 日～8 月 26 日

・場所　　：武蔵スカイプラザ、横安江町いちょう館
・入場者数：武蔵スカイプラザ　　6,215 名
　　横安江町いちょう館　2,919 名

②ＩＴ関連イベント

1）モバイルウォークラリー

・開催日　　香林坊地区：平成 13 年 8 月 11 日～12 日
　　武蔵地区：　平成 13 年 8 月 18 日～19 日
・回答数　　香林坊地区：418
　　武蔵地区：　133
・アクセス数　　11,571 件

2）待ちうけ画面プレゼント

・参加人員　　570 名

【課題・反省点】

(平成 12 年度事業)

一連の事業を通じて、解決すべき問題は山積みしているものの、商業環境、立地条件、客層など、事情の異なる 5 つの商店街が一体化して取り組むという点に限れば、極めて大きな意義がある。

① 本事業の方針としては、特に認知度、利用度の向上に力点を置いてきたが、ＰＲ不足は否めなかった。

②商店街単位では、当事業の重要性等について十分に理解されているが、傘下の個店には、事業への参加に消極的な面が見受けられた。

③中心商店街の両地区に共通駐車サービス券システムが構築された今、中心商店街の商店街活性化対策の一策として前面に打ち出していくべきであり、今後の検討課題といえる。

【関連ＵＲＬ】

金沢市	http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/
金沢商工会議所	http://www.kanazawa-cci.or.jp/
むさしパーキングネット	http://www.kanazawa-tmo.co.jp/musashi/index.html
5 タウンパーキングネット	http://www.kanazawa-tmo.co.jp/5towns/index.html
金沢市観光協会	http://www.kanazawa-kankoukyoukai.gr.jp/
㈱金沢商業活性化センター	http://www.kanazawa-tmo.co.jp/